



医療法人社団 仁恵会

石井病院

人工透析ひ尿器科じんけいクリニック

Now

Vol.186

- Since 2008

JINKEIKAI NEWSPAPER

発行：2023.9

診療案内 「便秘外来（治療）」のご案内

下腹ポッコリ ガスしか出ない

～ 便秘外来であなたの悩み解消をサポート！ ～

座ると苦しい！

便秘とは … 「慢性便秘症診療ガイドライン2017」では“本来体外に排出すべき糞便を十分量かつ快適に排出できない状態”を便秘としています。

便秘症とは … 便秘による症状が現れ、検査・治療を必要とする状態です。症状としては、排便回数減少による腹痛・腹部膨満等、硬便による排便困難・過度の努責等、便排出障害による残便感・頻回便等があります。

便秘の疫学 … 便秘の有症率は、人口の2～28%程度とされ、20～60歳では女性に多く、60歳以上は男女とも加齢に伴い増加し、80歳以上の高齢者ではともに10.8%と男女差がなくなる。

便秘の分類 … 大きく分け器質性、機能性があります。器質性便秘の原因として腸管の疾患にて便の通過を邪魔することにより発症する便秘です。大腸がん、潰瘍性大腸炎、クローン病、虚血性大腸炎など。機能的便秘の原因として、大腸の運動の低下により便が固くなる、食事摂取量の低下、腹圧の低下、直腸感覚の低下などにより発症する便秘です。（大腸の運動低下をきたす原因として、代謝・内分泌疾患や薬剤など神経・筋肉系に作用する疾患・薬品が原因となることもあります。）

診断 … 問診を行い、その問診内容により、各種必要な検査（採血・CT・レントゲン・腹部エコー・下部消化管内視鏡検査等）を行い、器質性による便秘ではないことを確認します。器質性による便秘の場合その原因となっている疾患の治療が最優先となります。特に大腸がんなどの疾患は、近年増加傾向にあり、特に警告徴候を有する場合は早期に下部消化管内視鏡検査を行うことが推奨されています。それ以外の便秘は、症状や検査結果、治療に対する反応を見ながら、診断や治療を進めていくこととなります。

警告徴候 ・原因が特定できない体重減少 ・血便 ・50歳以上で、過去3年以内に大腸検査を受けていない

治療 … 規則正しい食事・水分摂取・睡眠・運動などの生活習慣の改善・確立が規則正しい排便のための基本であり、便意を感じたら我慢することなく排便を行う排便習慣も重要です。

症状の軽い方は、生活習慣の改善だけで、便秘の症状が改善されます。それらの生活習慣の改善でも十分に改善しない場合は、薬による治療を併用していくこととなります。薬は各種あり症状により容量等調節しながらの投薬となります。

追記 … 便秘にて強くいきむと脳卒中や心筋梗塞の危険が高くなることや、痔などの肛門周辺疾患の原因にもなります。内痔核・外痔核・裂肛等の方は便秘などの排便習慣を改善しないと再発を繰り返すことにもなります。便秘症状を感じられた際は、ご相談ください。

専門医による適切な診断・カウンセリングを実施しています！

当院では、日本消化管学会胃腸科指導医、日本大腸肛門病学会 大腸肛門病指導医の適切な診断のうえ、便秘による生活習慣のカウンセリングも含め、診察で重大な病気が疑われた場合も日本消化器内視鏡学会 消化器内視鏡指導医が、苦痛の少ない内視鏡検査を行います。



| 便秘外来 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|-----|-----------|----|-----|-----|-----------------------|
| 午前 | 中尾 | 中村 | 福井 | 総合診 | 中尾 | 福井 (1.3.5週) 中尾 (2.4週) |
| 午後 | 総合診 | 福井 ~18:00 | 中尾 | 中村 | 総合診 | |

※ 便秘についてのご相談は「便秘外来」および総合診（消化器内科）でも受け付けております。



診療部長
中村 光宏



～ クリニック患者様満足度調査での教育依頼内容報告 ～

前回のNowで満足度調査の結果を報告させていただきました。患者様の気持ちや、要望が見えてきたため、積極的に改善活動を実施しております。

その中で「災害時の対応について」と「患者様が行うべき衛生管理について」教えてほしいという要望がありました。とても重要な事であり、当院スタッフには定期的な災害訓練（消防訓練も含む）の実施や、院内感染防止勉強会を実施しております。しかし患者様も対象とした訓練や勉強会となると中々実施できておらず、患者様へ情報がいきわたっていない事も確かです。定期的な広報誌の中で報告していく事を再度確認しながら、実際に当院では、どのようにするのかを周知するためにも訓練企画し実施すること、実施した結果を報告すること、更に参加できなかった患者様への周知を行う事を進めていきます。

まずは、「地震が起こった際の対策」として、当院透析患者様が行うべき行動等をとっても簡単にまとめました。落ち着いて行動できるようこれだけは守って下さい。



仁恵会本部事務課長
兼 人工透析ひ尿器科
じんけいクリニック
事務長

原 真一郎



全患者様が落ち着いて行動できるよう上記行動は周知し、絶対にこの流れに従うという事を徹底していただきたいと思っております。詳しい内容等に関しては、スタッフが理解しておりますので、ぜひお声掛けください。

次に、「衛生管理について」ですが、透析という治療を受けている患者様は、重症度が高いと判断されます。特に感染症については、注意しなければならず新型コロナウイルスでは、感染対策が特に徹底されてきました。全国的に広く周知された感染対策として、「手洗い・消毒・うがい・マスク」があります。衛生管理という観点からはこの対策は大変重要であり、接触感染防止・飛沫感染防止を行う事で、感染リスクを下げます。透析患者様特有の感染症としては、透析を行う為穿刺する血管が赤くなる・腫む・痛む等の症状がある場合は、シャント感染症が考えられます。感染を防止するためにも、穿刺部はしっかりと消毒し、清潔を保つ必要があります。透析当日の入浴・絆創膏を次回透析まではがさない・汚れた手で傷口を触るなどは、当院でも注意しておりますが、感染症になる可能性があり、感染したシャントは作り直さなければならない事もあり得ます。もし体調の不調や、熱、痛み等がある場合は、是非スタッフにお声掛けください。

～ 透析装置キャストフリーについて～

臨床工学技士 副主任 浜田 貴

満足度調査にて透析装置のキャストのロックについてお声がありましたので、その事について説明いたします。当院では、地震災害対策として透析装置のキャストはロックフリーとしております。その理由として、地震発生時に透析装置が自由に動くことで地震の揺れを吸収できるからであります。キャストをロックしておく、透析装置が自由に動かないため地震の揺れを吸収できず、透析装置が転倒する恐れがあります。透析装置が転倒することで、患者様やスタッフの負傷、透析装置の破損等の様々な被害が想定されます。以上のことから、当院では透析装置のキャストはロックフリーとしております。注意点として、地震発生時においてキャストをロックフリーにしているため、揺れにより透析装置があらゆる方向に動き抜針の恐れがありますので、揺れが収まるまでは回路を手でしっかり掴むようお願い致します。

当院は、耐震構造建築物であり、様々な地震災害対策を行っておりますので震度6強までの震災に対する被害を最低限に減災可能でありますのでその点をご安心ください。災害対策について、ご不明な点等ございましたらスタッフまでお気軽にお尋ね下さい。今後ともよろしくお願い致します。

患者様満足度調査で要望があった項目に関しましては、随時対応しております。ただすべてに対応できるわけではなく、実行した際のリスクを考慮し対応いたしますので、どうぞよろしくお願い致します。患者様のお声をしっかりと聞き、「透析なら仁恵会透析センター」といわれるよう地域患者様へ貢献していきます。

■ 医療連携相談室

TEL 078-918-1512 FAX 078-918-1725
平日 9:00～12:00 14:00～17:00
土曜 9:00～12:00
担当 古門 上野 西村

編集・発行

医療法人社団 仁恵会 石井病院 広報委員会
〒673-0881 明石市天文町1-5-11
TEL 078-918-1655 FAX 078-918-1657
<http://jinkeikai-group.or.jp/ishii/>